

DERWENT-ACC-NO: 1997-359621
DERWENT-WEEK: 199733
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable generator - has side plate positioned
outside fuel tank and
tank cover with gap in-between lower ends of control panel
and it

PATENT-ASSIGNEE: SAWAFUJI DENKI KK[SAWB]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0314021 (December 1, 1995)

PATENT-FAMILY:		LANGUAGE
PUB-NO	PUB-DATE	
PAGES	MAIN-IPC	
JP 09151745 A	June 10, 1997	N/A
003	F02B 063/04	

APPLICATION-DATA:		APPL-NO
PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	
APPL-DATE		
JP 09151745A	N/A	1995JP-0314021
December 1, 1995		

INT-CL (IPC): F02B063/04; F02B067/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09151745A
BASIC-ABSTRACT: The generator (6) is driven by an engine (E)
installed on a
frame (5). A side plate (8a) is provided outside a fuel tank
(T). A tank
cover is installed on the frame covering the fuel tank.

The side plate is installed such that a gap (12) is formed
between the lower
edges of a control panel (10) installed on the side plate.
An exhaust port
(13) is positioned such that it faces towards upper side edge
of control panel.

ADVANTAGE - Prevents wetting of control panel due to rain
water. Simplifies
structure and installation.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/2

TITLE-TERMS:

PORTABLE GENERATOR SIDE PLATE POSITION FUEL TANK TANK COVER
GAP LOWER END
CONTROL PANEL

DERWENT-CLASS: Q52

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-298682

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-151745

(43)公開日 平成9年(1997)6月10日

(51)Int.Cl.⁶

F 0 2 B 63/04

67/00

識別記号

庁内整理番号

F I

F 0 2 B 63/04

67/00

技術表示箇所

F

C

P

F

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-314021

(22)出願日 平成7年(1995)12月1日

(71)出願人 000253075

澤藤電機株式会社

東京都練馬区豊玉北6丁目15番14号

(72)発明者 松本 武浩

群馬県新田郡新田町大字早川字早川3番地

澤藤電機株式会社新田工場内

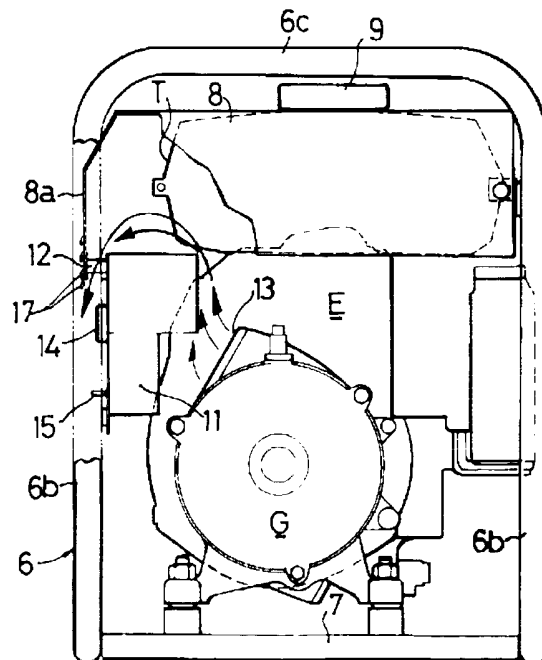
(74)代理人 弁理士 落合 健 (外1名)

(54)【発明の名称】 可搬式エンジン発電機

(57)【要約】

【課題】エンジンと、該エンジンで駆動される発電機と、前記エンジンの燃料油を貯溜してエンジンおよび発電機の上に配置される燃料タンクとがフレームに取付けられ、エンジンおよび発電機の側方に制御パネルが固定配置される可搬式エンジン発電機において、簡単な構造で制御パネルが雨等で濡れるのを極力防止する。

【解決手段】燃料タンクTの外側方に位置する側板8aを有して燃料タンクTを覆うタンクカバー8がフレームに取付けられ、制御パネル10が、その上端と前記側板8aの下端との間に空隙12を形成するようにして側板8aよりも内方側に固定配置され、発電機Gが、その排気口13を制御パネル10の上端側に向けた姿勢でフレームに配設される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 エンジン（E）と、該エンジン（E）で駆動される発電機（G）と、前記エンジン（E）の燃料油を貯留してエンジン（E）および発電機（G）の上方に配置される燃料タンク（T）とがフレーム（5）に取付けられ、エンジン（E）および発電機（G）の側方に制御パネル（10）が固定配置される可搬式エンジン発電機において、燃料タンク（T）の外側方に位置する側板（8a）を有して燃料タンク（T）を覆うタンクカバー（8）がフレーム（5）に取付けられ、制御パネル（10）が、その上端と前記側板（8a）の下端との間に空隙（12）を形成するようにして側板（8a）よりも内方側に固定配置され、発電機（G）が、その排気口（13）を制御パネル（10）の上端側に向けた姿勢でフレーム（5）に配設されることを特徴とする可搬式エンジン発電機

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、エンジンと、該エンジンで駆動される発電機と、前記エンジンの燃料油を貯留してエンジンおよび発電機の上方に配置される燃料タンクとがフレームに取付けられ、エンジンおよび発電機の側方に制御パネルが固定配置される可搬式エンジン発電機に関する

【0002】

【従来の技術】このような可搬式エンジン発電機は、エンジン、発電機および燃料タンクがケースで覆われていない所謂オープンタイプのものが一般的であり、制御パネルの上方も必然的に覆われていない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述のようなオープンタイプのエンジン発電機では、制御パネルが雨等で濡れるのは回避できず、制御パネルに設けられたコンセントやスイッチ等が雨等で濡れてしまい、接触不良を生じる可能性がある。

【0004】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたものであり、簡単な構造で制御パネルが雨等で濡れるのを極力防止した可搬式エンジン発電機を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、エンジンと、該エンジンで駆動される発電機と、前記エンジンの燃料油を貯留してエンジンおよび発電機の上方に配置される燃料タンクとがフレームに取付けられ、エンジンおよび発電機の側方に制御パネルが固定配置される可搬式エンジン発電機において、燃料タンクの外側方に位置する側板を有して燃料タンクを覆うタンクカバーがフレームに取付けられ、制御パネルが、その上端と前記側板の下端との間に空隙を形成するようにして側板よりも内方側に固定配置され、発電機

がその排気口を制御パネルの上端側に向けた姿勢でフレームに配設されることを特徴とする

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、添付図面に示した本発明の一実施例に基づいて説明する

【0007】図1および図2は本発明の一実施例を示すものであり、図1は可搬式エンジン発電機の斜視図、図2は図1の2矢視方向から見た可搬式エンジン発電機の切欠き背面図である。

【0008】図1および図2において、この可搬式エンジン発電機は、エンジンEと、該エンジンEで駆動される発電機Gと、エンジンEの燃料油を貯留してエンジンEおよび発電機Gの上方に配置される燃料タンクTとが、フレーム5に取付けられて構成されるものである。

【0009】フレーム5は、丸パイプを屈曲形成して成るフレーム主体6と、該フレーム主体6に固着される一対の支持部材7、7と、から成るものである。フレーム主体6は、相互に平行に延びる一対の横杆部6a、6aと、それらの横杆部6a、6aの両端から上方に立上がる4本の縦杆部6b、6bと、横杆部6a、6aと直交する方向で平行に延びて一対の縦杆部6b、6bの上端間を連結する一対の連結杆部6c、6cとを有するものであり、両支持部材7、7は、フレーム主体6の両横杆部6a、6a間にわたって設けられる。

【0010】フレーム5における両支持部材7、7の一方にはエンジンEが搭載され、該エンジンEに連結される発電機Gが他方の支持部材7上に搭載される。また燃料タンクTは、エンジンEおよび発電機Gの上方に位置するようにしてフレーム主体6に支持される。

【0011】燃料タンクTはタンクカバー8で覆われるものであり、このタンクカバー8は、燃料タンクTの外側方に位置する側板8aを全面にわたって有して矩形の面状に形成され、フレーム5のフレーム主体6に取付けられる。しかも燃料タンクTの燃料供給口（14示せず）は燃料キャップ9で開閉可能に閉じられるものであり、タンクカバー8の上端には、該燃料キャップ9を上方に突出させるための開口部8bが設けられている。

【0012】ところで、エンジンEおよび発電機Gの側方には、コンセント14やスイッチ15、16等が配設される制御パネル10と、該制御パネル10の背部に配設される制御箱11とが、フレーム5のフレーム主体6で固定的に支持されるようにして配設されており、制御パネル10は、その上端とタンクカバー8における側板8aの下端との間に空隙12を形成するようにして該側板8aよりも内方側に固定配置される。

【0013】また発電機Gは、その排気口13を制御パネル10の上端側に向けた姿勢で、一方の支持部材7上に搭載される。

【0014】次にこの実施例の作用について説明する。降雨時の屋外で可搬式エンジン発電機を使用してい

3

る状態を想定すると、タンクカバー8上の落下した雨水は、該タンクカバー8における側板8aの表面を雨滴17となって伝わって下方に落下する。この際、制御パネル10が側板8aの直下に在ると、側板8aから落下した雨滴17が制御パネル10の表面に付着し、制御パネル10に配設されているコンセント14やスイッチ15、16等が濡れてしまう。しかるに、制御パネル10は、その上端と前記側板8aの下端との間に空隙12を形成するようにして該側板8aよりも内方側に固定配置されるものであり、側板8aから制御パネル10に雨滴17が直接落下することが回避される。しかも発電機Gの排気口13が制御パネル10の上端側に向けられているので、排気口13からの排気による排気風が、図2の矢印で示すように、制御パネル10の上端と前記側板8aの下端との間の空隙12を通過して外方に流通することになり、タンクカバー8の側板8aから落下する雨滴17が前記排気風によって吹き飛ばされる。したがって、雨滴17の制御パネル10への付着がより確実に防止されることになり、制御パネル10のコンセント14やスイッチ15、16等が濡れてしまうことが極力防止される。

【0015】以上、本発明の実施例を詳述したが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明を逸脱することなく種々の設計

4

変更を行なうことが可能である。

【0016】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、燃料タンクの外側方に位置する側板を有して燃料タンクを覆うタンクカバーがフレームに取付けられ、制御パネルは、その上端と前記側板の下端との間に空隙を形成するようにして側板よりも内方側に固定配置され、発電機が、その排気口を制御パネルの上端側に向けた姿勢でフレームに配設されるようにした極めて簡単な構造により、制御パネルが雨等で濡れるのを極力防止することができる。

【図面の簡単な説明】

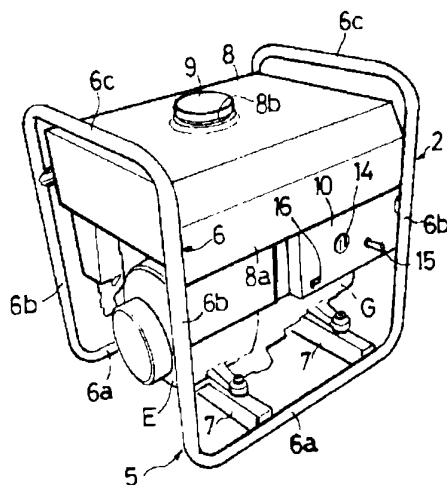
【図1】可搬式エンジン発電機の斜視図である。

【図2】図1の2矢視方向から見た可搬式エンジン発電機の切欠き背面図である。

【符号の説明】

5・・・フレーム
8・・・タンクカバー
8a・・・側板
10・・・制御パネル
12・・・空隙
13・・・排気口
E・・・エンジン
G・・・発電機
T・・・燃料タンク

【図1】



【図2】

